

令和8年度大阪府880万人 訓練参加登録（地元自治会、自主防災組織など） R8.8.20 9:00現在		
グループ名	参加予定人数	訓練内容、メッセージなど
Team7043(全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体) 社団局 JF3YYE	40 人	Team7043(全国アマチュア無線非常通信ボランティア団体 社団局 JF3YYE)では、訓練合図にあわせてアマチュア無線の周波数 439.11MHz FM JR3VK 1波を使って大阪府内局&近隣県各局との交信を行います。CQを出す場合は、CQ KUNREN CQ KUNRENと言って呼びかけます。またWebロールコール（ハッシュタグ#情報、#報告、#支援、#要請）を使いSNSを利用して電文伝達訓練も行います
府営豊中上新田住宅自治会	50 人	ヘルメット、懐中電灯、マスクなど備品を備えて避難場所へ団体行動を推進します。
加美連合町会防災リーダー	97 人	昨年度まで4年間「加美連合町会災害救助部」14名登録で、大阪880万人訓練情報入手時に行っていた受信確認や安否確認をグループライン上でやり取りする訓練を、今年度は拡大し「加美連合町会防災リーダー」97名を対象に実施します。
蹉陀西校区自主防災会	200 人	緊急地震速報（訓練メール）を受信後、その時置かれている状況（自宅で家事中、仕事中、自転車・バイク・車での移動中、スーパーでの買い物中、駅・電車内、公園での散歩中など）に応じた10秒間の「命を守る行動（緊急避難行動）」を各自で実施。その時、実際に緊急避難行動を取ることが困難な状況であれば、どのように行動するかを各自で検討・イメージする訓練とします。訓練後は新たに開設したオープンチャットを活用して安否確認を行います。
泉州透析施設連絡会	30 人	泉州地域の透析施設において災害時の被災状況の共有を行い、透析患者さんにできるだけ負担のない透析を施行できるように施設間で調整しています。当日は各施設に日本透析医学会災害情報ネットワーク入力訓練（同日開催）を促し、地域内では現行のスプレッドシートに入力いただき、関係機関への集約した情報提供そして支援受援の調整などを被災内容に応じて行います。
太田町防災委員	170 人	町会LINEを活用した安否確認の訓練をいたします。
翠松苑自主防災組織（熊取町）	300 人	地震の際の安全確保行動1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を身につけるシェイクアウト訓練を実施。さらに各家庭において、非常時対策の見直し、防災グッズを確認、ケガを防ぐための身の回りの安全対策をとるように促すことも目的とする。
夕陽丘セントポリア管理組合	198 人	わがマンションでは、訓練合図に合わせて「身を守る行動」「安否確認」「館内点検」を行います。
箕面青松園自治会自主防災委員会	87 人	地震発生時に各自が家族の身を守る訓練をして、自治会の「防災LINE」を使って安否確認訓練を行う。自治会の自主防災委員会としては防災役員が安否情報の取りまとめを行う。